

ボランティア - はじめの一步塾

《内 容》 何十年にもわたって会社(役所)人間として活躍し、あるいは主婦として子育て一筋に頑張ってきた人ほど、ボランティア活動の敷居は高い。“はじめの一步”が踏み出せないのである。今回の塾では、個人にとって、家族にとって、社会全体にとって「ボランティア」がどれほど重要な意味を持っているかを確認する。そのうえで、さまざまな分野で実際にボランティア活動をしている方々を講師に迎え、ボランティア活動に取り組むようになったきっかけは何だったのか、ボランティア活動を続けるためにどう工夫や心配りをしているのか、などを生々しく語っていただく。

《特 色》 第2回目以降の講師の方々の、なんとエネルギーなことか。その生き生きとした表情を見ているだけで、周囲の人々まで明るい気持ちにさせてしまう。ほとんどの方が、つい何年か前まで会社や役所一筋の猛烈サラリーマンであり、あるいは専業主婦であった。それが、いったい何をきっかけにボランティアに一步を踏み出したのか？ ボランティア活動に伴う苦労や悩みをどう乗り越えてきたのか？ ボランティア活動ならではの喜びは何か？ 写真やスライド、生の資料を示しながら、率直に、具体的に語っていただく。受講者の皆さんの、これからの人生を変えることになるであろう、有意義な塾になるに違いない。

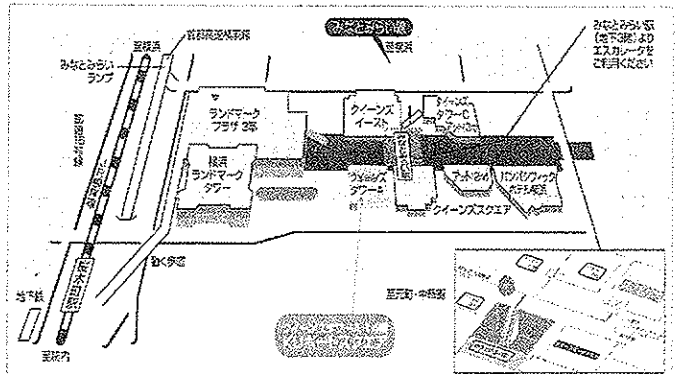
《講座日程》

回	開講月日	講 師	内 容
1	6/27 (水)	松岡 紀雄	ボランティアに関する5つの誤解
2	7/ 4 (水)	木谷 正道	会社(役所)人間から地域人間への変身
3	7/11 (水)	野口 稔	いざ地域、そして故郷へ
4	7/18 (水)	大見 京子	父親の介護体験から「宅所ひなたぼっこ」の開設へ
5	7/25 (水)	片桐 務	地域デビュー・肉体派宣言!
6	8/ 1 (水)	篠原 憲一	「ひらつか防災まちづくりの会」の活動
7	8/ 8 (水)	吉武 紳吾 吉武 早苗	西方見聞録(モンゴル) 熟年夫婦がボラで二人三脚
8	8/22 (水)	原園 信夫	猛烈ビジネスマンが落書き消しのボランティア活動

日 時	6/27~8/22 水曜日 13:30~15:00 全8回 ※8/8は13:30~15:30
受講料	8,000円
定 員	50名
申込締切	6/13(水)
会 場 の ご 案 内	KUポートスクエア 〒220-6014 横浜市西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワーA 14階 【交通】 みなとみらい線 みなとみらい駅下車 徒歩約2分 JR根岸線・市営地下鉄 桜木町駅下車 徒歩約7分

《留意事項》

- ※受講料には、資料代および消費税が含まれます。
- ※申込期間後も定員に余裕がある場合は、受け付けます。
- ※定員に満たない場合は、開講できないことがあります。
- ※講師の緊急な都合などにより日程等を変更する場合があります。



FAXまたは郵送でお申し込みの方は

裏頁の「受講申し込み書」にご記入の上FAXまたは郵送してください

ホームページからお申し込みの方は

<http://www.ku-portsquare.jp/>

資料請求・お問い合わせ先

KU 神奈川大学

■生涯学習・エクステンション講座係

KUポートスクエア TEL: 045-682-5553 FAX: 045-682-5554

広報事業課

TEL: 045-481-5661(代表)

ボランティア -はじめの一步塾 <カリキュラム>



第1回 ボランティアに関する5つの誤解 6/27(水)13:30~15:00	
内容	ボランティアとは、そもそも個人にとって、家族にとって、社会や国にとって、何なのか？ 多くの人々が信じている、①公共サービスは、すべて行政がやるべきだ。②ボランティア活動の動機は純粋でなければならない。謝礼をもらうなんてとんでもない。③ボランティアは困っている人を助けることだ。④仕事が忙しくてボランティアどころではない。ボランティアは暇な人がやればよい。⑤子どもたちにボランティアを強制するなんてとんでもない。—が大きな、そして不幸な誤解であることを実証していく。
講師	松岡 紀雄 神奈川大学経営学部教授
紹介	1940年松山市生まれ。アメリカPHP研究所初代代表、英文国際版PHP編集長などを務め、90年より現職。80年代に「日本企業も企業市民たれ」と提唱。横須賀市や小田原市、平塚市、綾瀬市の市民協働推進に関する条例づくりにかわり、現在も横須賀市の市民協働審議会委員長や補助金審査委員長を務める。ゼミ生たちとともに、湘南ひらつか七夕まつりに参加したり、商店街や地域のホームページを開発・運営したり、小学生や高齢者と一緒の「一日寺子屋」を開いたりもしている。著書に『海外広報の時代』『企業市民の時代』『ボランティアを高く評価する社会』など。
第2回 会社(役所)人間から地域人間への変身 7/4(水)13:30~15:00	
内容	行政が主の「従来型公共」が行き詰まり、代わって地域組織やNPOが公共の問題を解決する事例が注目を集めている。平塚市でも、高齢者介護、障害者支援、防災・耐震補強などで目ざましい動きがある。団塊世代かつ典型的な会社人間(役所人間)であった自分が、徐々に地域にかかわり、変化していった体験を通して、これからの熟年ボランティアのあり方を考えてみたい。
講師	木谷 正道 まちの音楽家たち・平塚耐震補強推進協議会副会長
紹介	1947年、平塚市に生まれ今も在住。本年3月まで東京都庁に勤務。5年前から、ご近所の宅老所や障害者施設でギターを弾き語りをする。防災・耐震補強、子ども、森・農、囲碁普及などにも取り組む。平塚の防災・耐震補強の活動については、NHKのクローズアップ現代や、朝日新聞夕刊1面の「人・脈・記」でも詳しく紹介された。本年1月から始まった神奈川新聞連載「団塊探偵団」の市民編集長のひとり。
第3回 いざ地域、そして故郷へ 7/11(水)13:30~15:00	
内容	自分本来の居場所探しをテーマに、2004年12月には鎌倉の建長寺で「第1回団塊サミット」を主催した。この場で「セカンドライフ」の一つの選択肢として、「仕事で培ってきたノウハウを地域や故郷の活性化のために使ってみてはどうか」と訴えた。これは10年前、北鎌倉で一足早く地域デビューした実体験に基づいている。これまでの体験報告と今後の展開について話してみたい。
講師	野口 稔 共同通信社メディア局編集部担当部長
紹介	1948年生まれ。任意団体・北鎌倉湧水ネットワーク代表。著書に『北鎌倉発 ナショナル・トラストの風』『団塊世代よ、帰らん、いざ故郷へ！』(いずれも夢工房)。本年1月から始まった神奈川新聞連載「団塊探偵団」の市民編集長のひとり。 *北鎌倉湧水ネットワークHP & ブログ http://www.kitakama-yusui.net/ http://kitakamay.exblog.jp/
第4回 父親の介護体験から「宅老所ひなたぼっこ」の開設へ 7/18(水)13:30~15:00	
内容	宅老所というのは、長時間対応できる小さなデイセンターです。介護が必要になった方が自宅同様に安心してゆったりと過ごせる所、介護している方が働き続けられる、または、介護疲れをリフレッシュできる環境を整えるためのお手伝いをします。高齢社会に対応できる居心地の良い「宅老所ひなたぼっこ」を、市民が知恵を出し合って創りました。
講師	大見 京子 特定非営利活動法人ひなたぼっこ代表
紹介	17年前から5年間同居の父を介護、認知症のフルコースを体験。「ワーカーズ・コレクティブ笑顔」の2代目代表を務めた後、2000年9月に仲間と「平塚に宅老所をつくる会」を設立。01年7月20日に自宅を改装して「宅老所ひなたぼっこ」を開設。神奈川大学経営学部の社会福祉論の授業では毎年3回、活動の詳細や高齢者介護のあり方を語りつづけている。

第5回 地域デビュー・肉体派宣言！ 7/25(水)13:30~15:00

内容 地域デビュー、社会貢献といってもさまざま。会社人間として磨いたノウハウを生かす前に、まず惜しみなく自分の体を使い、汗をかくことで心身の健康を保ち、仲間づくりをすることから始めませんか。丹沢ドン会では、荒廃した里山の管理や耕作放棄された棚田の復元作業を行っています。米、そば、小麦、野菜などの安全・安心な食べ物づくりを体験し、食や農への関心を高め、楽しく汗をかきながら丹沢山麓の伝統的な景観を復元し、生き物たちとの共生を考えます。

講師 片桐 務 地域出版社「夢工房」代表

紹介 1950年、長岡市生まれ。NPO法人自然塾丹沢ドン会専務理事、夜の会フォーラム世話人。06年12月開催の「第3回団塊サミットin丹沢」実行委員会事務局を担当し、「団塊人」のネットワークづくりに励む。本年1月から始まった神奈川新聞連載「団塊探偵団」の市民編集長のひとり。

第6回 「ひらつか防災まちづくりの会」の活動 8/1(水)13:30~15:00

内容 自分と家族を大地震からどう守るか、の視点から活動を始めた。「ひらつか防災まちづくりの会」は、複数の市民防災小グループのゆるやかな連携と相互支援の会として2003年に発足。同年に開設された「ひらつか市民活動センター」などを活動拠点に、「平塚市市民活動ファンド」による助成金を活動資金にと幸運にも恵まれ、気心のしれた小グループが自由奔放にさまざまなバラエティに飛んだ活動を展開している。05年には「防災まちづくり大賞・総務大臣賞」を受賞した。

講師 篠原 憲一 「ひらつか防災まちづくりの会」初代代表

紹介 1947年平塚市生まれ。中小企業勤務の現役サラリーマンで、団塊世代の第一陣。95年に高校時代の同窓生に誘われて市民活動に入門。99年市民活動団体のネットワークを広げる会＝現在の「NPOみんなで作る平塚」の設立にかかわる。2003年迫りくる大地震から自分と家族と地域を守るために「ひらつか防災まちづくりの会」を設立し初代代表になる。

第7回 西方見聞録（モンゴル） 8/8(水)※13:30~15:30 ※8/8のみ時間を変更して行ないます。

内容 ・日本の中高年への期待 ・大学でのボランティア活動 ・2年間の活動の成果 ・これからの関わり方

講師 吉武 紳吾 海外ボランティア（モンゴル在住）

紹介 1939年生まれ、東京都立大卒。東芝で海外勤務の後 国際協力機構（JICA）のシニアボランティアとしてモンゴルで2005年までの5年間活動。現在、現地モンゴルのNGOで活動中。

熟年夫婦がボラで二人三脚

内容 ・専業主婦がするボランティア ・WEショップの「リサイクルで海外支援を」 ・モンゴルの子供に里親紹介 ・地球規模で考え地元で活動

講師 吉武 早苗 NPO法人WE21ジャパンにのみや代表

紹介 1945年中国チンタオ（青島）生まれ、津田塾大卒。子供3人、孫4人。海外在住中に先進国のボランティアを体験、95年から神奈川県二宮町でボランティア活動。

第8回 猛烈ビジネスマンが落書き消しのボランティア活動 8/22(水)13:30~15:00

内容 会社人間が地域へギアチェンジするきっかけは、いろいろな所に転がっています。一步踏み込んでみると、まわりにはあなたの参加を待っている団体が数多くあります。力まず、顔を出すだけで、地域での人の輪が広がっていきます。私の地域デビューの一步は、ボランティアではなく、市役所の「男の講座」受講から。そして平塚MACの設立、平塚をみがく会への設立とつながっていきます。

講師 原園 信夫 松下電器グループ勤務

紹介 神奈川県環境学習リーダー・環境カウンセラーとして環境教育を実践（廃棄物関連）。休日は、「平塚MAC」、「平塚をみがく会」、「みんなで作る平塚」、「市民活動連絡協議会」、「セタボランティア」などの活動を行う。「平塚をみがく会」については、NHKの「難問解決、ご近所の底力」や、道徳副読本『みんなで考える道徳』（日本標準出版）でも詳しく紹介され、全国的な広がりを見せている。

受講申し込み書

(FAXまたは郵送用フォーム)

〒220-6014 横浜市西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワーA 14階
 KUポートスクエア 生涯学習・エクステンション講座係
 FAX番号: 045-682-5554

20 年 月 日

※印の項目は必ずご記入ください。

フリガナ※				性別	男・女
お名前※					
生年月日※	19	年	月	日	(歳)
ご住所※	〒				
電話番号※	()				
携帯電話	()				
E-mail	@				
ご職業※	1. 学生 2. 会社員・団体職員(一般職) 3. 会社員・団体職員(管理職) 4. 公務員 5. 教職員 6. 自営業 7. 主婦 8. 定年退職・無職 9. その他 ()				
受講者区分※	1. 神奈川大学学生 2. 神奈川大学・大学院・短期大学部卒業生 3. 神奈川大学在学生父母 4. 附属中・高等学校生徒 5. 附属中・高等学校卒業生 6. 附属中・高等学校生徒父母 7. その他本学関係者(口科目等履修生 口聴講生 口研究生 口研究員 口教職員) 8. 横浜市内大学間学術・教育交流協議会加盟大学在学生 9. かながわ大学生涯学習推進協議会加盟大学在学生 10. 上記以外の方(一般)				

※受講者区分が1~9の方は、必ずご記入ください。

受講者区分	フリガナ 本人又はご子息様のお名前	本人又はご子息様の学籍番号	卒業年月	学部・学科(大学関係者に限る)
1・4				学部 学科
2・5			年 3・9月	学部 学科
3・6				学部 学科
7		(学籍番号又はコード番号)		(所属学部・所属部署)
8・9	在籍中の大学名	大学	学年 年	学部 学科

認知媒体※ (一つのみ)	1. パンフレット 2. 本学ホームページ 3. 新聞広告 4. ミニコミ紙 5. 折込チラシ 6. 電車内広告 7. バス車内広告 8. 駅看板・ポスター 9. 知人の紹介 10. その他 ()
-----------------	---

申し込み講座

開講場所※	講座名称※	開講期間※	開講曜日※
KUポートスクエア	ボランティア—はじめの—歩塾	6/27~8/22	水 曜日
			曜日
			曜日

* 受講申し込みの際に登録された受講者の個人情報については、注意をもって管理し、講座の円滑な運営のために利用します。

* 登録された個人情報に基づき、神奈川大学から講座開催等についてご案内することがあります。但し、案内を希望しない場合は、お申し出ください。

事務使用欄

1. 受付	2. データ登録	3. コード	4. 受講者区分	講師紹介
-------	----------	--------	----------	------